

日本女大家政 樋口ゆき子 早川史希子
 計算研 ○ニ宮玲子 立花厚子

目的

衣服設計の基礎となる体型把握のために、個々の身体計測項目を単変量として捉えるのではなく、総合的体型を概観することのできるいくつかの基本的計測項目の組合せ、即ち、多変量として把握することが重要である。体型の類型化を目的として、1978年～1981年通商産業省工業技術院「日本人の体格調査」資料を用い、判別関数分析、主成分分析、クラスター分析を適用し、体型分類を試みた。

方法

性別、年齢に伴う体型の構造変化を検討するため、判別関数分析を用い、分類関数による分類と年齢層に関する分析を行った。さらに、主成分分析を適用し、主成分得点をクラスター分析することにより、体型分類を行い、年齢層との関係、及び各分類における基本計測項目パターンについて考察した。

また、総合的体型を概観する基本計測項目のクラスター分析による分類も試みた。

結果

主成分得点、あるいは、基本計測項目のクラスター分析(分割型クラスター分析 Kmeans 法)により、体型の類型化を試み、それらと年齢層との関係をみることであった。